

23日ハウスオブレストで早朝5時からお弁当作りです。今回は川内村女性部老人会からの要請なのでお弁当は70食、仮設訪問初期の頃の人数と同じ数です。多くの失敗を経験しそれが益となり知恵を得て皆テキパキとお弁当作りは進んでいきます。このお弁当は現場スタッフの働きだけではなく縁の下の力持ち的な働き手、衛生管理の行き届いたキッチンを保っている近藤先生ご夫妻、何よりも多くの方々の祈りの働きがお弁当の安全と成功を支えているのです。ありがとうございます。(写真はずらりと並んだ五目寿司)



ここで、お弁当のメニュー決めの話を書き。メニューは行く季節を考えながら決めていきます。今回は丁度お彼岸の季節であることから五目寿司がいいのではないかとということになりました。桜の季節には、稲荷寿司、秋にはきのこ炊き込みご飯、冬には里芋ご飯、など季節感を大事にしています。それプラス食中毒をださないような調理手順であることはとても重要なプロセスです。気温が17度を超えるようになると食中毒のリスクが上がりますので、衛生面、体調面、温度管理にはより気を付けていくのです。また、今回は寿司飯でありましたが、すし酢が足りないことがわかり、急遽現地で買い足すというハプニングもありました。(^^)



那須から川内村への移動は山道も使うため時間が結構かかるのですが予定通り9時30分に到着することができました。開始は10時30分ですが、到着時から人が次々とやってきて女性部長秋元さんから前倒しでやってほしいとの要請が入り、私たちの方も急遽バタバタと動き始めました。会場はいつもの1階研修室ではなく2階のホールでとても広いスペースです。50人集まってもまだ余裕です。150人でも余裕に入れるほどの広さです。写真は始まりに挨拶をする秋元女性部長です。この方が藤木先生の音楽療法と富安先生のサクソ演奏のコラボをしたコミセンでの12月の集会に来て下さり、たちまち気に入って今回の女性部老人会の集会を要請したのでした。



音楽療法の第一声は藤木先生の「川内村の美女軍団!!」という声で始まりました。ご想像の通り大爆笑です。たちまち「藤木隆ワールド」に引きずり込まれ、皆が一斉に藤木先生の掛け声に合わせて手足を動かしていきます。

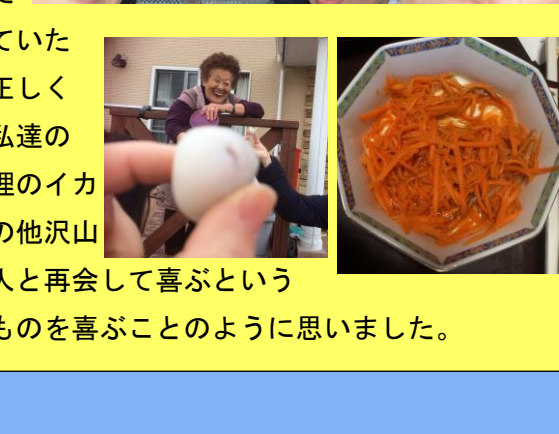


比夫美先生の指導に合わせて楽器を使って、「365歩のマーチ」を演奏するための練習風景。皆さんとても上手くてしっかりと演奏します。時々男性の姿が見受けられますが、各区の代表者の方で「今日は俺は女性だ」と冗談を言っていました。この365歩のマーチは大盛り上がりでした!!



再会!!!

集会が終了後、私達は前々回から探しているMさんの家を検索し2軒間違えて3軒目にやっと探しだしました。お隣にはこれまた常連のTさんがおられMさんがサプライズで呼び出して感動の再会を果たしました! Mさんのお宅を後にして駐車場まで戻る途中の家を覗くと! 何と今度はその家にまたもや常連のIさんが! Iさんは「夢のようだ」と喜んで下さいました。集会の連絡がうまく来なかった様で日曜日と勘違いしていたみたいです。集会日を正しく知らせることは今後の私達の課題です。福島郷土料理のイカ人参や手作り団子、その他沢山ご馳走になりました。人と再会して喜ぶということは、人の存在そのものを喜ぶことのように思いました。



富安先生のサクソ演奏は  
♪春の歌～三部作♪  
♪Amazing Grace♪  
♪ふるさと♪  
連続で演奏されました。牧師であることや神様の恵みの話がそれぞれの曲の前に少し入りそれから演奏に入りました。一同サクソの音色に癒されて静かな感動の中メロディーに合わせて体を動かしたり首を振ったりして皆ほれほれと聴いていました。



写真左は仮設でお会いしたけれど早くに川内村へ帰られた方を見つけて話しかけるスタッフ。私たちのことも覚えていてくださいました。懐かしい顔をちらほら見受けられます。写真右は集会後のお弁当風景。スタッフや社協の方もいれて総勢60名ほど、この人数が集まると圧巻です。スタッフも一緒に食べておしゃべりしました。

